

集会案内

日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinihongokyoikai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「野口英世」①

一八七六年(明治九年十一月)に野口英世(清作)は父・野口佐代助と、母・シカの長男として福島県に生まれました。しかし父の佐代助は、酒と博打が好きであり働きませんでした。清作が一歳の時でした。母親が裏の畑で仕事をしている時、寝ていたはずの清作が起き出して、火のある囲炉裏に右手を入れてしまったのです。その結果、右手の指が握った形で全部くっついてしまいました。母親は、清作がこのようになったのは自分のせいだと罪責を感じ、「手が利かないのでこの子には農業は出来ない、この子には学問しかない」と、清作を学校に通わせました。当時は小学校にも全員が行けるわけではなかった時代です。貧しい家の子で学校に行っていたのは清作一人でした。その為に母親は働き尽くめで、生活を支えませんでした。そのような母親の姿を見て、清作は猛勉強をしました。清作は、やけどでいじめに遭うことがありました。ある時はその様な自分を悲しみ、指をナイフで切り離そうとした事があったといえます。しかし十五歳の時、学校の先生や級友が集めてくれたお金で、左手の手術を受け成功しました。しかし、成功しても以前のように自由には動かせませんでした。

そのような時、彼の村に牧師の藤生金六が英語塾を開きました。一八九四年のことです。清作もその英語塾に通うようになり、そして十八歳の四月七日に、キリストを信じ洗礼を受けました。その教会の二人目の洗礼者として、洗礼帳に彼の名が記されています。その教会は現在の日本基督教団若松栄町教会です。当時、清作はクリスマスの手伝いや、日曜学校のカードを配る奉仕を熱心に行っていたという話が伝わっています。彼は医学の道を目指していました。自分の手を手術した医学の力に感動したからです。まず自分の手を手術してくれた医院に住み込みで修業しました。そして一八九六年十九歳の時に医師の資格を修得するために上京を決意し、その時自分の家の柱に「志を得ざれば、再びこの地を踏まず」と刻みました。そこから強い決心の程が読み取れます。東北本線の駅まで四十キロの道を歩いて行ったそうです。東京に来た清作は、いじめに遭いながらも猛烈に勉強し、僅か一年で一回の試験で合格しました。その後、順天堂医院に勤務。さらに北里柴三郎のいる伝染病研究所に勤務しました。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。